



## 編集雑記

## 既刊案内 (特集・主要記事)

### [ 2月号 ]

◎[シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No63]北海道大学大学院 工学研究院 環境工学部門 水質変換工学研究室 准教授 北島正章氏を訪ねて 新たな「下水疫学」を提唱…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎「マンションの管理の適正化の推進に関する法律第5条の2に基づく助言・指導及び勧告に関するガイドライン」を策定しました…国土交通省 ◎「流域水循環計画」7計画を公表し、流域マネジメントを推進…内閣官房水循環政策本部事務局 ◎8月には半年を上回る土砂災害が発生…国土交通省 ◎国土交通省のインフラ長寿命化に関する取組状況を取りまとめました…国土交通省 ◎建設業の人材確保・育成に向けた取組を進めていきます…国土交通省・厚生労働省 ◎みんなで目指すクリーンな雇用・クリーンな請負の建設業界…国土交通省 ◎地域の魅力・歴史的建造物を「Pokémon GO」で再発見!…国土交通省 ◎令和3年度太陽エネルギーセミナー…東京都 ◎令和3年度河川愛護月間「絵手紙」入賞作品決定!…国土交通省 ◎琵琶湖・東京湾における底層溶存酸素量に係る水質環境基準の水域類型の指定について…環境省 ◎自動水栓寄贈で東管協組 ミナミサワに感謝状 ◎「明日への道標」世界の一隅を照らす—中村 哲—命の水を送った医師—…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎「新春対談」ベストパートナーをめざして…藤川幸造氏・橋本政昭氏 ◎「トピックス」『水道修繕受付センター』の取り組み…神戸市管工事業協同組合 ◎「東京見て歩き」東京都の水道 村山、山口貯水池を訪ねる…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎「特別連載」平成を偲ぶパロディ狂歌集(34)—平成一人百首—弁護士 野平大魚 ◎「ひとり戯事」病業(わくらば)…香り藻岩 ◎建築着工統計(2021年11月)…国土交通省 ◎エッセイ西村修一、新田純子

### [ 3月号 ]

◎[シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No64]岩手大学理工学部システム創成工学科 社会基盤・環境コース 教授 伊藤 歩氏を訪ねて 下水汚泥から有用物質を回収微生物や酸化剤を用いて有害物質を分離・除去…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎家庭用エアコンディショナーの新たな省エネ基準に関する報告書を取りまとめました…経済産業省 ◎建設工事や業務に関する品質確保や働き方改革のための取組状況をまとめました—「新・全国統一指標」令和2年度取組状況のまとめ—…国土交通省 ◎「取引適正化に向けた5つの取組」を公表しました…経済産業省 ◎フロン排出抑制法に基づく業務用冷凍空調機器からのフロン類の充填量及び回収量等の集計結果(令和2年度分)を取りまとめました…経済産業省・環境省 ◎工事請負代金債権の譲渡を活用した出来高融資制度…一般財団法人建設業振興基金 ◎引越時期の分散に御協力をお願いします!~3月の引越件数は通常月の約2倍!混雑時期を外してスムーズな引越を…国土交通省 ◎「特集」新型コロナウイルス感染症の中で トピックス(1)パキスタン現地調査を行った富岡 透氏に聞く トピックス(2)機内濃厚接触判定で隔離された 山口岳夫氏に聞く トピックス(3)感染・発症し 天草で入院生活を送った 池田和隆氏による闘病記 ◎「明日への道標」創造の源泉は愛する人々—ピカソ 死と再生のゲルニカ—…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎「東京見て歩き」神楽坂界隈を歩く…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎「特別連載」平成を偲ぶパロディ狂歌集(35)—平成一人百首—弁護士 野平大魚 ◎「ひとり戯事」続・病業(わくらば)…香り藻岩 ◎建築着工統計(2021年12月)…国土交通省 ◎エッセイ西村修一、新田純子

プーチン大統領の率いるロシア軍がウクライナ南部ザポロジエにある同国最大の原子力発電所を砲撃し、チェルノブイリの悪夢が一気に甦った。1986年、史上最悪の原子炉爆発事故を起こしたチェルノブイリ原発もロシア軍に占拠された。国連憲章やジュネーブ条約を足蹴にしたプーチンの無差別攻撃は非道な戦争犯罪にほかならない。

原発危機を口実にしてアメリカの核兵器を共同管理する核共有論も急激に浮上している。核共有は欧米諸国の軍事同盟である北大西洋条約機構(NATO)ですでに実行されている。B61核爆弾がNATO加盟国に配備され、有事にはF16戦闘機、トーネード戦闘機、F35Aステルス戦闘機などに搭載して対戦国に投下される仕組みだ。

核共有論は核兵器を保有することで他国の核兵器使用を抑止できるという核抑止論に基づいている。しかし核兵器の先制使用を臆面もなく公言するプーチンによって核抑止論は完全に破綻したとわたしは思う。核軍拡競争の暴走で人類は勝者なき世界最終戦争を迎えることになるだろう。

ノーベル賞を受賞した湯川秀樹や朝永振一郎と並び称された理論物理学者の武谷三男は1967年の著書『安全性の考え方』で「裁判は疑わしきは罰せずだが、安全の問題は疑わしきは罰しなくてはならない」と主張した。危害をもたらす疑いのあることはやるべきではないとわたしは解釈した。原子力の平和利用を熱心に唱えていた武谷はやがて「原子力はまだ人類の味方でなく恐ろしい敵なのである」という結論に達している。(高倉)

給排水・衛生・環境設備の総合誌

月刊「コア」第389号

令和4年4月10日発行 定価1,000円(税別)

発行編集人 高倉克也

印刷所 (株)日本設備工業新聞社出版事業部

発行所 〒150-0031東京都渋谷区桜丘町10-13

(野元第1ビル)(株)日本設備工業新聞社

TEL (03) 3496-4774(代)

FAX (03) 3464-1884